



NinaMoriNoEroihon

**N**

**M**

**N**

**E**

十八禁



（おんこはきりす）

N M N E

03

ED



# N M N E

03	トビラ
04	目次
05	NMNE
20	あとがき
22	ゲストページ
24	表紙没絵
26	奥付



ハル子が居なくなつて  
ママ美もいなくなつて  
しばらくたつた——

子供だったオレは  
少しだけ大人になっていた——

ザ  
チャーンッ

05



子供から  
少しだけ大人になったのは  
オレだけじゃなくて

このくされ縁みたいなニナモリも  
当然の様に少しだけ大人になった

金かえせよーっ!

だーから!

すっぱいのはやだつて!

レキオートレモンゼラール

買い食い

お前またっ

ニナモリッ

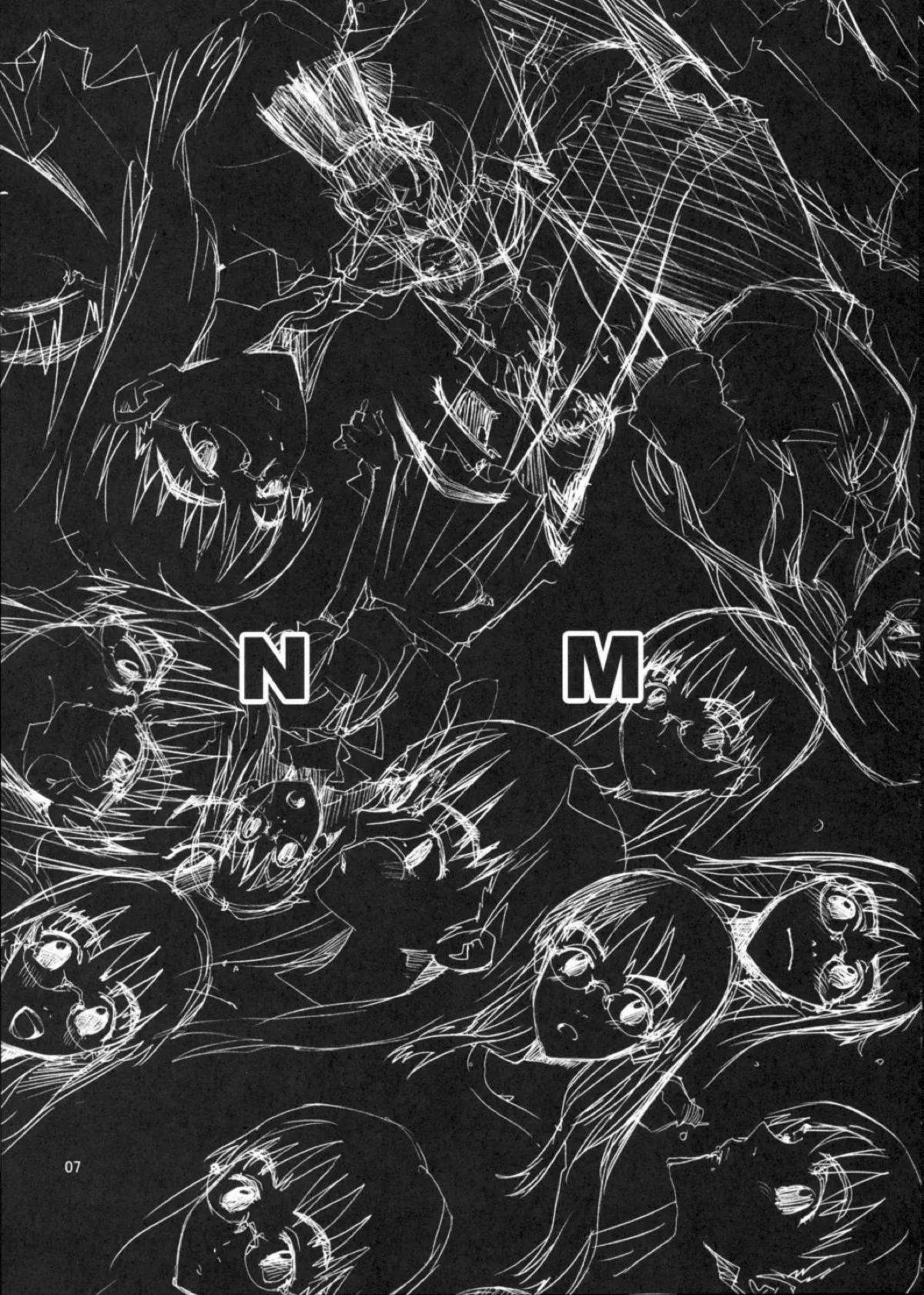






# N E





**N**

**M**













ナオ太君てき

何だかんだいっても  
最後はやさしいトコ

全然変わらないね



ナオ太くんはさき  
あのお手伝いさん

好きだったの...?



なつかしいね  
何か



前にもあったから  
こういうの



.....



何だよ急に



だから  
何が...



だったら  
何なんだよ...!





私…

何いってんだよ!

…ニナモツ…

だからあの時  
お手伝いさんに  
邪魔されて…



何…いって…



何だよ

だから  
さつきから  
何なんだよ!



私は…

ずっとナオ太君が  
好きだったよ



今度は  
邪魔は入らないよ…

結局ナオ太君に  
最後までこのこったのは…



…



私だよ…

ニ…ナモ…?





どうする…？

変わっていないことを  
確かめるように  
言ってきた二ナモリの

なんだかわからないけど  
覚悟みたいなものを感じて



二ナモリ

お前…



そういつて  
堂々と服を脱ぎ始めた  
二ナモリが

ナオ太くん

一番  
変わっている気がして—

その姿を見てもなぜか  
驚くほど冷静だった

今ならまだ  
ナオ太君がとめれば  
冗談ですむわよ…

これを拒めば  
二ナモリはまたあの笑顔を  
するような気がした

二ナモリの眼は  
あまりにもまっすぐで

っ…  
二ナモリっ…

オレは—

二ナモリにあの顔を  
させたくない  
素直に思った—



あ…





困った顔してる

!!

ごめんね...



ナオ太君



あやまるなよ...

13



...うん



ニナモリは  
一瞬だけ目を逸らして

胸...

触って...

そう言った



ニナモリの体は  
やわらかくて

ひたすら  
やわらかくて…

ふっ  
ニナ…モ

ナオ…太く

ハッ

ハッ

ハッ

まるで夢の世界にでも  
いるような気がした—

あ…

もう  
ちょっと…

…

下…んっ…

ニナモリの声は  
ずっと遠くで  
聞こえてるようで…

ナオ…太く…んっ

??

ハッ

…オ…太くっ

正直オレは—



ニナモリを  
気づかう余裕も

かっこつける  
余裕もなくて

太へ...

ニナモツ

あげく

気持ちよかったか  
さえもあやふやで

ただ





ただ一心に  
ニナモリの事ばかり  
考えていた

気づいた時には  
ニナモリの中で  
果てていた

は...



ニナモリ...

あの...

...

別に



たいしたこと...

ないから...

それきり  
会話はしなかった



シーツにはハッキリと  
現実だという証が  
残っていて



「エッチをしたから……」  
とは思われなくなかった——

オレは二ナモリの事を  
思いつく限り

二ナモリの隣で何度も  
何度も思い出していた

それは一晩じゃとても足りなくて

その日は結局  
一睡もできなかった——





次の日  
ニナモリと一緒に家を出た

お世話になりました



その日初めて  
まともに見た  
ニナモリは

きげよっ

眼の下に  
盛大なクマを  
作っていた



別に…

わかつ  
してるに  
決まってるだろ!!



な…なんだよ  
ソレ…

してちゃ悪いかよ



後悔…  
してるでしょ…

ナオ太君



!!

くそっ!

言いたいことの  
半分も言えないまま

一晩中ずっと  
お前のこと考えた!  
いまさらだった!

オレは…っ

オレは…



お前が好きだ  
なんていうまで考えも  
しなかったんだよ!





だから

バカ  
子供ね

ずっと見たかったはずの  
二ナモリの本当の笑顔を

オレは見事に  
見逃していた――

周りも気にせず  
そう叫んで走り出していた



気づいたんだっ

二ナモリが好き  
なんだよーっ!

オレは何も成長なんかして  
いなかったのかもしれない



だけど  
二ナモリを確かに好きだと  
思う気持ちは

後悔って……  
そっち……?

まるで生まれ変わった  
みたいな変化で



舞い上がって……



どうもお疲れ様でした。  
EDです。始めましての方はじめまして！  
いつも手に取って下さっている方、ありがとうございます！

今回はゲストページが後に控えているので、構成上こちらがあとがきになります。

ニナモリ本でしたが、今回はすごく浸りきって描いてみました。  
おかげでエロシーンとかもえらく控えめな感じに、ナオ太とニナモのやりとりを中心に書いてみました。  
二人の関係は自分の こうだったらいいなあという部分と、アニメでのやりとりをあわせて再構築してみたんですが、  
本編でも割と独白の多いナオ太くんによりかかって、ちょっと独白の多い感じになってしまいましたね…。

ニナモリは 性格というか けっこう分類がむずかしい感じがしたんで割と考えて、設定に自分なりに裏設定を組んでみたのですが、本文中はそのほとんどを隠すように描いてみました。  
(ナオ太君の印象では語られているのですが)  
最後の後悔ってそっちという言葉だけは、さすがに言わせておかないと、ニナモリとナオ太君のずれが解りにくい感じがしたので入れておきました。  
本当は説明のためのネームが倍以上ありましたが…、というより時間の都合でページをカットしまくったのですが、かえっていいそぎ落としになったかもしれません…。

ラストは2パターンあったんですが、この没カットがもうひとつのパターンでした。

こっちはまともりはよかったのですが、ナオ太君がニナモリに対する気持ちをハッキリ認識できないラストだったので没にしました。

という感じで一久じぶりにあとがきでだらだらと話してしまうような漫画をかけたのはよかったです。

ナオ太君のへたれっぷり全快なエロシーンをもうちょっとじっくりと描きたかったのですが…。

今回も締め切りが危ないですが、何とか間に合いそうです。

それでは またお手に取っていただける機会があれば、幸いです。

本当にありがとうございます。それではまたの機会に…。

ED







次のページからはゲスト様に寄せていただいたイラストです。

P23 清原紘さん

なんすか…このマミ美は…かわいすぎる…  
といわざるを得ないイラストを寄せていただきました…。  
めちゃくちゃなスケジュールなのに快く描いてくださり  
本当にありがとうございます…！  
たっくんがうらやましい、肩に乗りたい。

P24 さめだ小判さん

なんすか…このニナモリは…かわいすぎる…  
と同じ事を言わざるを得ないイラストを寄せていただきました…。  
なんといいですか、こちらめめちゃくちゃなスケジュールの中  
快く描いてくださって 本当に感動いたしました…。  
ニナモリブルマはいいですよ…本当 僕もかいときゃよかったと思いました。

P25・26

いま入稿締め切り数時間前なのですが…！  
ゲスト様が一人間に合わないので急遽表紙の没ラフを引っ張り出してきました…  
どうかご了承くださいませ…。









Yoshi





U  
M  
A  
Z  
I  
N  
O  
E  
R  
O  
I  
H  
O  
N

いつもの横フォーマットでラフをきいたのですが、  
こんな乱れるシーンはないじゃない…ということで没になりました。  
セーラー服かシャツかは最後まで迷ったんですが、  
べたを入れる時間に自信がなかったのでやめました。  
髪と同化してしまうのもあったので。  
絵的には意外と気に入っていました。





M  
ing

M  
ori

M

roihen

表紙  
紙

10  
部

10  
部

眼鏡は結局伊達なニナモリなので、本文の眼鏡はただの趣味でつけました。  
なので 最初は眼鏡かけてませんでした。

これはニア姫の前に会場はフリクリと決める前くらいに  
これでいくか!と描いたものでしたが、時間がたつと  
やっぱり書き直したくなるもので…。

25

でも 今の表紙は逆に表紙の入稿に間に合わないほどあせっていて、  
作家名を見事に度忘れしています…。  
うまく時間配分のバランスが取れません…。





奥付

サークルED (EDGE)  
[N M N E]

2007/08/19

発行者 ED

連絡先 ed@redsky.sakura.ne.jp

印刷所 大和印刷所

- この本は18禁です。18歳未満への販売、ならびに18歳未満の観覧を硬く禁じます。
- この本を無断で複製、インターネット等でのアップロードによって配布することを硬く禁じます。



**N**  
**M**  
**N**  
**E**

